

応募部門	イ メンテナンスを支える活動	
該当する分野	主分野(必須)	河川・ダム・砂防・海岸
	副分野1(任意)	
	副分野2(任意)	
(よみがな)	ちいいそうさんかによる「げんべえがわ」のさいせい・かんりしすてむのこうちく	
応募する取組名	地域総参加による「源兵衛川」の再生・管理システムの構築	

取組のPR

1 取組の概要

・当該取組の内容を簡潔に把握できるような概要を200字程度で記載してください。(受賞時にパネル紹介等において引用)

源兵衛川は400年前に開削された歴史的な湧水河川であり、1960年以降、地下水の汲み上げ等により湧水が減少し、河川の環境悪化が進行した。そこで1990年代から、農業者・市民・NPO・行政・企業・専門家が結集した新たな地域総参加の仕組みを創り、川掃除を続け、「近自然工法」を取り入れた市民創意の公共事業を実施した。生物多様性の強化を目的に、農業者と市民が協働しての再生管理保全システムが28年近く継続している。

2 具体的に優位な点

・当該取組について、最も優れている点、最もPRできる点について、200字程度で記載してください。(受賞時にパネル紹介等において引用)

源兵衛川の計画策定において地域総参加の仕組みを創り、3年間で200回延べ20,000人の流域住民が協議に参加し、検討を重ね、原自然を活かしたエコロジーアップの川づくり・市民主体の維持管理マニュアルの策定・農業者と市民との協働管理システムの構築・川の中を歩ける「水の散策道」・三島梅花藻保護地の造成など街中に魅力的な水辺空間が創出された。2016年11月「世界かんがい施設遺産」、2018年1月「世界水遺産」に登録された。

3 活動状況・活用事例・効果等

・これまでの活動状況・活動事例、具体的な効果について、200字程度で記載してください。

源兵衛川での利害調整役を担う「グラウンドワーク三島」による合意形成が行われ、農林水産省水環境整備事業によるインフラ整備が、静岡県営事業として1990年から98年に実施された。市民は定例的なゴミ拾いやゴミ拾いツアーの企画、水の勉強会や水辺の楽校の開校、ホテルの里の造成、継続的な自然環境調査の実施など、農業施設をまちづくりの活性化施設に活用した水の仕掛けづくりに取組み、三島市には年間730万人の来訪者が国内外から訪れるようになった。

4 図・写真

・活動状況・活用事例・効果等がわかる図や写真を添付してください。(掲載点数は最大3点とし、各データにタイトルなど説明キャプションを加えてください)



大学生ボランティアによる草刈り



ゲンジボタルの乱舞



ミシマバイカモの群生地